



松村 考

二日間の実習を終え、臨床現場で活躍されている先生方がどのような考え方をされているかを学ぶことができました。

最も印象に残ったのは「正常画像の理解」の講義で、X線画像の原理や正常所見について理解が深まりました。この講義の中で、X線画像を構成する線や陰影ができるには、一つ一つ理由があり、それらを説明できることが重要であるということ学びました。異常所見を言葉で覚えて知識として蓄えても、臨床の現場では不十分です。さらに、丸覚えの知識を画像と照らし合わせるよりも、原理を理解し考えながら読影するという姿勢のほうが楽しいと私は感じました。

また、結核についての講義では、結核の性質をわかりやすく解説していただきました。結核について正しい理解があれば、感染対策のためにはどのような施設が必要なのか、どのような対応が重要であるかという判断ができるということ学びました。

今回の実習を通して私が感じたことは、先生方は確かな根拠に基づいて様々な医療行為を行っているということです。読影でも感染対策でも根拠があれば判断することができます。私も先生方から学び、良い医師を目指したいと感じました。

最後に、南方先生をはじめ対応して下さった先生方、スタッフの皆様に深く御礼申し上げます。